



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hovukai.org/>

第135号

発行:2017年7月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会



横浜ほうゆう病院における訪問看護の現状

～ 認知症の方に寄り添う訪問をめざして～

横浜ほうゆう病院 訪問看護担当 工藤 テル子

高齢化社会を迎え在宅で生活されている高齢者の増加に伴い認知症者も増加の傾向にあると思われます。地域における高齢者支援対策として“認知症を知る会”“老人カフェ”“介護おしゃべり会”等行われている事は耳にしますが、どこ迄浸透しているのか、実態が把握しきれてないのも現実だと思います。

この度、横浜ほうゆう病院では在宅医療支援の一環として、訪問看護に取り組む事になりました。私はその訪問看護を担う一員として、H28年4月就業しH29年7月で1年3ヶ月になります。この間マニュアル等の準備に入り、H28年10月には訪問看護を開始し2名から始めて、現在は徐々に増加しています。

私事になりますが、横浜ほうゆう病院に就職する前、9年間2つの病院で一般精神科の訪問立ち上げに関ってきました。始めの病院では外来科長をしており、外来で訪問看護を担う事になりました。多少の不安もありましたが、外来で訪問看護を担うという“使命感、や、どのように運営できるかという”期待感、がありました。外来スタッフも前向きに受け止めて協力的でした。午前中は外来勤務で午後は訪問にと2人一組で始めました。この間私はとにかく話そう、どんな小さな事でもみんなで話し合う事を心がけ声をかけていきました。訪問看護は外来だけではなく病棟・ケースワーカー・事務等、他職種連携が必要であり、全体への浸透に向け関わりを多く持ちました。地域にあっては、本人はもちろん家族、ケアマネ、地域担当者、作業所職員等よく集まり話し合いを行いました。今でも患者さんの笑顔、楽しかった事などが思い出されます。

これらの関わりが横浜ほうゆう病院の訪問看護にどのように生かされるのか心配でもありました。現在横浜ほうゆう病院の中では、全体に周知され運営会議で年間目標が出される等、着々と進んでおります。H29年の目標として、一つは患者家族が地域の

中で安全、安心して生活を送れる様に地域と連携を図り支援する。二つ目としては多職種と協同し精神科訪問看護の拡充を図る。三つ目は訪問看護の必要性について病院内のスタッフに働きかけ浸透を図るの3点を掲げています。

現在、訪問している事例を一部紹介します。Aさんは90歳代、女性、アルツハイマー型認知症で、ご夫婦で来院される“薬が足りない”“飲み残しがある”などの問題が出て訪問看護に繋がり、その後、訪問しながら残薬の調整、お薬カレンダーの活用、家族の協力等で安定して生活が出来るようになり、訪問を楽しみに待ってくださいます。

70歳代、Bさんは女性、レビー小体型認知症で昨年夫が逝去され子供はいません。キーパーソンは妹でアメリカ在住。家の中はゴミ屋敷に近い状態で、また、人が家を覗いているという妄想で警察に電話するなどの問題があり役所よりの紹介で受診。その後訪問開始となりました。病識は全くなく、医師が運転を止めても毎日乗っている、さらに義弟の友人と共に行動するようになり、家の債権、タンスの中身紛失、通帳から用途不明の金額が下ろされているなどが、妹の帰省ではっきりしました。その後、夜間は人が中を見ているので家に居られないと警察へ症状悪化の為当院入院となりました。このケースはケアマネ、行政書士、グループホーム、訪問看護等で支えてきたが、難しいケースでした。

このような現実を重く受け止め、高齢者が住み慣れた地域の中でその人がその人らしく過せるように支援の輪を拡げていくために、私達専門職の活動が今後ますます求められてくると思います。また、地域包括ケアということで国や地方自治体の取り組みが始まっていますが、併せて当院の訪問看護もその一翼を担えるよう頑張っていければと思っております。

平成29年度 認知症家族講座 横浜ほうゆう病院

認知症について知りたいと思ったことはありませんか？

横浜ほうゆう病院では認知症の患者さんと寄り添うご家族を中心に地域の方々を交え、認知症について学び合う会を開催しています。認知症の方を介護されている方同士で、お話しする自由な時間も設けています。お気軽にお越し下さい。お待ちしております。

日時	内容	講師
6月17日（土）	認知症の理解	精神保健指定医
7月15日（土）	食事の工夫と脱水予防	管理栄養士
8月19日（土）	認知症の薬の話	精神保健指定医
9月16日（土）	介護保険施設について	株式会社 アイシマ
10月21日（土）	日常生活の支援	認知症看護認定看護師
11月18日（土）	認知症家族講座～拡大版～	家族会・家族講座推進委員会
12月16日（土）	口から食べられなくなった時に考えること	老人看護専門看護師

終了
終了

※テーマ、並びに講師については変更となる場合がございます。

開催時間：13時30分～15時まで

開催場所：横浜ほうゆう病院 外来ホール

参加費用：資料、お茶代として100円いただきますのでご了承下さい。

申込方法：お電話にてお申込み下さい。当院をご利用されていない方の参加も可能です。

045-360-8787（代表） 地域医療連携室までご連絡下さい。

看護相談外来のご案内 横浜ほうゆう病院

当院では認知症について専門の看護師が対応する看護相談外来を実施しています。患者さんやご家族からの療養生活上の困りごとを共に考えていくための外来です。必要時、医師や薬剤師、管理栄養士、精神保健福祉士（ソーシャルワーカー）と連携を図りながら療養生活をサポートしていきます。

どうぞお気軽にご相談下さい。お待ちしております。

外来日：火曜日・水曜日・金曜日

担当者：片瀬・村山・飯田

場所：1階外来

対象者：認知症で当院に通院している患者さんまたはご家族

相談内容 ◆認知症と診断された後に必要なこと
◆認知症の症状への対応
◆食事・排泄・睡眠・入浴など介護について
◆在宅療養生活の環境について
◆日常生活を整えるケアについて
◆介護サービスの活用について など

相談時間：1回30分程度

費用：無料

予約方法：外来担当医・看護師からの紹介または直接のお申込み

外来当日に声をかけてくださっても結構です

045-360-8787（代表） 地域医療連携室